

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【公開番号】特開2012-33175(P2012-33175A)

【公開日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2012-007

【出願番号】特願2011-193987(P2011-193987)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/50 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/50 6 2 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月7日(2012.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

物理対象物を表す幾何モデルを、複数の構成エレメントから作成するためにコンピュータによって実行するシステムであって、

論理エレメントは識別タグとポインタ領域からなり、前記複数の構成エレメントと該構成エレメントの各々に対応する複数のポインタとを関連付けて定義され、前記複数の構成エレメントおよび前記論理エレメントを記憶するメモリと、プロセッサを備え、前記プロセッサは、

前記対応する複数のポインタの各々を通して、前記メモリに記憶された前記論理エレメントと選択された構成エレメントとの間に動的リンクを確立するステップと、

入力パラメータとして前記論理エレメントをプロシージャに渡すステップとを実行し、前記プロシージャは、出力として前記物理対象物を表す前記幾何モデルを持ち、前記出力は前記選択された構成エレメントの数およびタイプの少なくともひとつの変化に反応するシステム。

【請求項 2】

前記プロセッサはさらに、前記選択された構成エレメントの少なくとも 1 つを、幾何エレメントとなるよう選択するステップを含む、請求項 1 記載のシステム。

【請求項 3】

前記プロセッサはさらに、前記選択された構成エレメントの少なくとも 1 つを、物理対象物を表す第 2 の幾何モデルとなるよう選択するステップを含む、請求項 1 記載のシステム。

【請求項 4】

前記プロセッサはさらに、前記選択された構成エレメントの少なくとも 1 つを、第 2 の論理エレメントとなるよう選択するステップを含む、請求項 1 記載のシステム。

【請求項 5】

C A D システムにおいて実行される、請求項 1 記載のシステム。